

# 「人と田んぼと魚たち」

## —農と自然の共生



田んぼと私たちの関係、変わってきていませんか？  
田んぼの水路で魚とりをした記憶、たどってみませんか？  
田んぼを利用する魚たちの現状や、生き物に優しい農業の試みを紹介します。

**日時** 平成20年7月19日(土) 13時～17時

**場所** 田主丸町複合文化施設そよ風ホール  
福岡県久留米市田主丸町田主丸770-1

**電話** 0943-74-4000  
JR久大本線田主丸駅下車徒歩5分

**入場無料**



### 講演

- 1 絶滅危惧種を守ることに意味はあるか**  
渡辺 勝敏 (京都大学大学院)
- 2 水田を利用する魚たち**
  - ◆ ヒナモロコはいかに水田を利用するか  
小早川みどり (九州大学)
  - ◆ 水田を保護地にする  
青 雅一 (岡山淡水魚研究会)
- 3 自然の生き物も農の恵み**  
宇根 豊 (NPO法人「農と自然の研究所」)

### パネルディスカッション

#### 「水田を利用する魚たちとの共存は可能か」

- ◆ 司会 細谷 和海 (近畿大学)
- ◆ 話題提供
  - 1) ゆりかご米  
牧野 厚史 (滋賀県立琵琶湖博物館)
  - 2) 市民を中心とした稀少魚保護の体制づくり  
高橋 清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- ◆ パネリスト
  - 牧野 厚史 (滋賀県立琵琶湖博物館)
  - 高橋 清孝 (シナイモツゴ郷の会)
  - 田中 一雄 (福岡県朝倉農林事務所)
  - 宇根 豊 (NPO法人「農と自然の研究所」)
  - 青 雅一 (岡山淡水魚研究会)
  - 大石 敏 (ヒナモロコ里親会)
  - 鬼倉 徳雄 (九州大学)

### 問い合わせ先

#### 「人と田んぼと魚たち」実行委員会

〒810-8560 福岡市中央区六本松4-2-1  
九州大学理学府生物科学科細胞機能学講座  
電話：092-726-4761 小早川みどり